

自昭和十八年六月一日  
至同 六月三十日 第五十航空戦隊戦時日誌  
作戦及一般ノ部

一 経過

機動部隊訓練部隊トシテ前月ニ引續キ所定任務ニ従事ス

主要経過 左ノ通

(一) 自六月一日 至六月三十日 對潛警戒戒左ノ通

月日	使用機種数	行動海面	記	事
六一	九九艦爆 六	修多岬 三〇度 九〇度 三〇度 三〇度		
六	九七艦攻 三	六〇度 三〇度 一五〇度 一五〇度		
八	一三	一四〇度 一五〇度 一三〇度 一六〇度		
〃	八	一五〇度 一六五度		
〃	三	一三〇度 一五〇度		

一四	九七艦攻	三	佐多岬三五友一六五友	
六	九七艦攻	八	佐多岬五〇友一七五友	(二)六月十五日以降機密機動部隊訓練部隊命令作第七號ニ依ル對 潜哨戒攻撃船團對潜直衛左ノ通 月日 使用機種數 行動海面 記 事
七	九七艦攻	七	三〇友一五五友	
〃	九七艦攻	六	二五友一七五友	
二〇	九七艦攻	六	一五友一七五友	
二二	九七艦攻	八	三〇友一五五友	
二三	九七艦攻	四	八〇友一三〇友	
二四	九七艦攻	八	八〇友一〇〇友 二〇〇友	
二五	九七艦攻	八	八〇友一〇〇友 二〇〇友	
二六	九七艦攻	六	〃	

三〇	九七	四		
〃	〃	〃	〃	〃
六	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃

(三)六月九日。九三。第四警戒配備

(四)KB電令作第八六號ニ依ルヲ榛名、dx4横須賀回航ニ際シ

六月十二日。九〇。及三三。發亦七、六都井岬ノ三〇度ヨリ

八〇度迄一八。埋圈内對潜索敵

二〇〇ヨリ一五〇。迄六二(宛)對潜直衛實施

(五)六月十二日附龍鳳ハsasヨリ除カレsfニ編入横須賀ニ向ケ

回航

(六)六月十二日一二。所司令長官將旗ヲ一時亦七、一移揚ニ音

二二〇。瑞鶴ニ復歸

(七)六月十三日鳳翔横中、實驗發射ニ協力行動中左舷推進

器翼切損吳ニ回航修理ニ從事セム

鹿空	<p>一 航空兵力</p> <p>艦 爆 五四 (九九式三四)</p> <p>艦 攻 四八 (九七式)</p> <p>陸上輸送機 四 (九六式)</p> <p>二 現状</p> <p>(一) 本隊 完備</p> <p>(二) 管理基地 釜原 完備</p>
----	---

部 隊 名 記 事

(八) 築城本隊八富高基地ニ派遣訓練中、旭築城空工事完成セシニ付築城ニ復歸六月二十五日移動完了

(九) 六月三十日。七三〇發赤松、友田岬一八。夜ヨリ二四〇迄

一五。埋圈外日進内海回航時前路對潜掃蕩實施

(五) 六月一日現在麾下部隊現状概要茲ニ航空兵力左ノ通

夕風	鳳翔	築城
完備	着於訓練於トシテハ完備 但六月二十三日左舷推進器翼一枚切損吳二回航後 因島船渠入渠換裝	一航空兵力 二現狀 陸上輸送機 一(九式) 練習機 一(九式) 機夜業 四七(零式) 定数二隊 (一)本隊 工事完了六月下旬富高空ニ派遣訓 練中、飛行機隊ハ築城ニ復帰豫定 (二)管理基地 富高 完備 但飛行場擴張工事施行中

人員ノ現状

(一)司令部  
の職員官氏名

職	主務官	氏名	記
司令官	少將	城島 高次	
参謀	少佐	菱輪 三九馬	五島補隊第十二戦隊司令部附 同日退隊
同	大尉	石田 外喜雄	同日退隊
同	同	田村 兼雄	五島補隊司令部附 不著任
兼司令部附	通信	藤原 弘道	兼名海軍艦隊通信隊長兼司令部附 兼司令部附
司令部附	幕僚事務補佐	田中 昌孝	

龍鳳 完備  
但シ六月十二日 254ニ編入ナル